

## 次号予告

### 特集 学んだORと使ったOR—若き社会人の奮闘記—

企業で学んだORと現場での適用の難しさ	粕谷博宣 (JFEスチール)
コーポレート管理分野におけるOR手法の活用	辺見和晃 (構造計画研究所)
現実配送計画問題への多目的最適化手法の応用	中尾芳隆 (キヤノンシステムソリューションズ)
地方公共団体におけるOR—事業評価から政策評価の構築へ—	川畑卓也 (奈良県立図書情報館)
多目的スケジューリング法の活用検討	鬼頭繁彦 (デンソー)
鉄道システム開発におけるORの適用と課題	高橋理 (三菱電機)
中等教育とOR	成川康男 (桐朋学園)
実践らくらくOR—OR実践回想記—	相澤りえ子 (構造計画研究所)
「学んだORと使ったOR」アンケート集計	毛利進太郎 (神戸学院大学)

### 編集後記

●モデリング特集「最適化モデリング」「広い視野を求めて」に続いて第3弾です。本当にさまざまな分野から、さまざまな視点で魅力的なお話を頂きました。時間的にも空間的にもいろんな世界にワープできそうです。

●近頃、鉄道ネットワーク上の経路探索問題を扱っていたら、少しおかしな？知識がつかってきました。いろんなことを知るたび驚きの連続です。成蹊大学の吉祥寺から新宿へは、JRの中央線や総武線で210円で行くより、井の頭線で明大前まで行って京王線を利用する190円の方が安いのです。そして、一番線路走行距離が短いのはJRで荻窪まで行って丸ノ内線を利用する経路です。

●ある時期、御茶ノ水周辺の乗換えの定義に悩んでい

ました。ある定義では、丸ノ内線の御茶ノ水はJR御茶ノ水や千代田線の新御茶ノ水と乗換え可能で、新御茶ノ水は丸ノ内線の淡路町と乗換え可能なのです。乗換え可能駅を距離ゼロのアークで結んでダイクストラ法等で最短経路を求めると(新御茶ノ水を歩いて通過して)、丸ノ内線上で御茶ノ水から淡路町まで距離ゼロでワープしてしまいます。「千代田線に乗り換えたらず必ず隣の湯島か大手町に行かなくてはいけない」「湯島に行くんだ」「湯島に行かなくてはいけないのだ」と夜中にうなされる日々が続いていました。そんなとき、編集委員会があったのですが、根津に向かうべき私は「湯島に行くんだ」という気迫で、勝手に湯島で下車し、見たことのない景色と自分のボケに呆然としたのでした。(池上敦子)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 中森真理雄(東京農工大学)

委員 池上敦子(成蹊大学)、大村弘之(日本電信電話(株))、岡田 勇(創価大学)、岡野裕之(日本アイ・ビー・エム(株))、住田 潮(筑波大学)、高橋一喜(東京ガス(株))、高橋彰子(株)NTTデータ)、田村一軌(財団法人鉄道総合技術研究所)、田村亮二(キヤノンシステムソリューションズ(株))、土屋利明(日本電信電話(株))、所 健一(財団法人電力中央研究所)、生田目崇(専修大学)、根本俊男(文教大学)、廣津信義(順天堂大学)、藤本 衡(東京電機大学)、増田浩通(東京工業大学)、三浦英俊(明海大学)、村井雅彦(株)東芝)、山下英明(首都大学東京)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成19年4月号 第52巻 第4号 通巻556号

代表者 青木利晴

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032  
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 中森真理雄

発売所 株式会社 日科技連出版社  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ